

運用報告書 (全体版)

One日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2005年7月29日から2045年7月28日までです。	
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	One日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型)	日本インカム株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	日本インカム株式マザーファンド	わが国の取引所上場株式（上場予定を含みます。）、不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として日本インカム株式マザーファンドへの投資を通じて、予想配当利回りが高いと判断されるわが国の株式ならびに不動産投資信託受益証券および不動産投資法人投資証券に分散投資し、配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。	
組入制限	One日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型)	株式への実質投資割合には制限を設けません。不動産投資信託証券への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
	日本インカム株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。不動産投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。毎決算時の分配金額は、利子・配当等収益相当額を基礎として、安定的な収益分配を行うことを目指して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。毎年1月および7月の決算時の分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して、前記の分配金額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

(旧ファンド名称：新光日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型))

第82期 <決算日 2026年4月28日>
第83期 <決算日 2026年7月28日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型)」は、2026年7月28日に第83期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

One日本インカム株式ファンド（3ヵ月決算型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額			東証株価指数(TOPIX) (配 当 込 み)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資信託 受益証券、 投資証券組 入 比 率	純資産 総 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
第38作成期	74期(2024年 4月30日)	円 21,379	円 30	% 11.5	ポイント 4,656.27	% 9.5	% 97.5	% —	% —	百万円 71,056
	75期(2024年 7月29日)	21,604	70	1.4	4,693.59	0.8	98.2	—	—	82,031
第39作成期	76期(2024年10月28日)	20,253	70	△5.9	4,564.71	△2.7	96.5	—	—	78,649
	77期(2025年 1月28日)	21,019	70	4.1	4,743.03	3.9	97.0	—	—	77,723
第40作成期	78期(2025年 4月28日)	20,751	70	△0.9	4,612.48	△2.8	95.5	—	—	72,472
	79期(2025年 7月28日)	23,000	70	11.2	5,110.36	10.8	97.7	—	—	75,312
第41作成期	80期(2025年10月28日)	25,109	70	9.5	5,784.72	13.2	95.7	—	—	75,977
	81期(2026年 1月28日)	28,211	70	12.6	6,234.07	7.8	96.7	—	—	80,296
第42作成期	82期(2026年 4月28日)	31,111	70	10.5	6,718.19	7.8	95.6	—	—	77,142
	83期(2026年 7月28日)	33,455	70	7.8	7,071.01	5.3	96.2	—	—	80,399

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
- (注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
- (注4) 東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません（以下同じ）。
- (注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

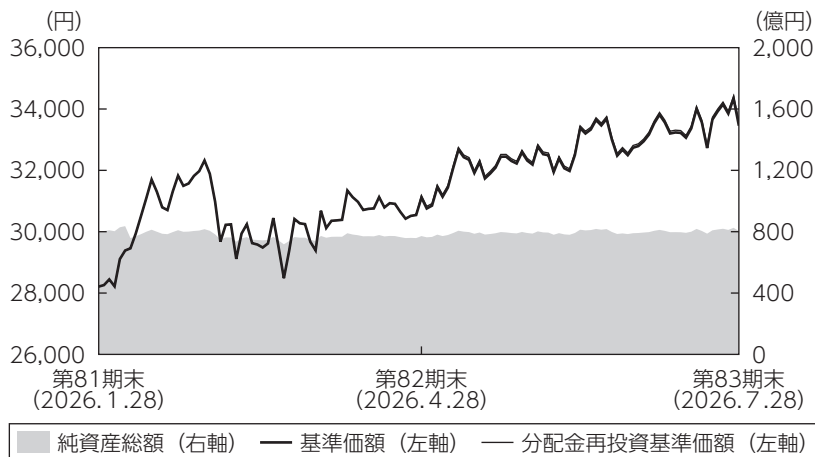
■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		東証株価指数(TOPIX) (配 当 込 み)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率			
第82期	(期 首) 2026年 1 月 28 日	円 28,211	% —	ポイント 6,234.07	% —	% 96.7	% —	% —
	1 月 末	28,445	0.8	6,288.77	0.9	96.5	—	—
	2 月 末	32,321	14.6	6,947.17	11.4	96.5	—	—
	3 月 末	29,389	4.2	6,229.53	△0.1	95.3	—	—
	(期 末) 2026年 4 月 28 日	31,181	10.5	6,718.19	7.8	95.6	—	—
第83期	(期 首) 2026年 4 月 28 日	31,111	—	6,718.19	—	95.6	—	—
	4 月 末	30,756	△1.1	6,638.55	△1.2	95.4	—	—
	5 月 末	32,585	4.7	7,052.48	5.0	94.9	—	—
	6 月 末	32,792	5.4	7,126.60	6.1	95.5	—	—
	(期 末) 2026年 7 月 28 日	33,525	7.8	7,071.01	5.3	96.2	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第82期～第83期の運用経過（2026年1月29日から2026年7月28日まで）

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

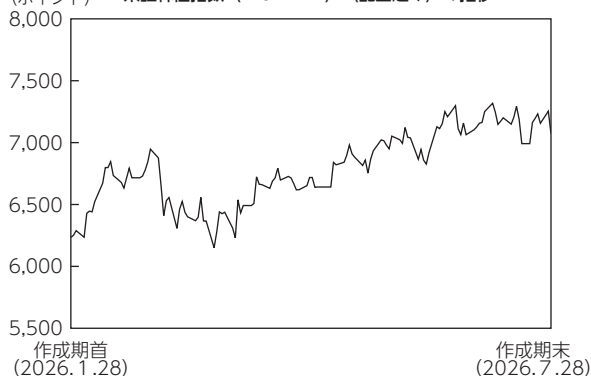
日本インカム株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を主要投資対象とし、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

基準価額は、保険業や銀行業の保有ウェイトを高くしていたことなどがプラスに寄与し、上昇しました。

投資環境

国内株式市場は、期中、一時的に調整する局面がありましたが、期を通して見ると堅調に推移しました。2026年3月に、中東情勢などに対する地政学リスク懸念が広がった局面では、株式市場は一時的に調整しましたが、国内企業の堅調な業績や資本効率改善に向けた取り組みが継続していることなどを背景に、堅調に推移しました。

(ポイント) <東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) の推移>



ポートフォリオについて

●当ファンド

予想配当利回りが高いと判断される株式ならびに不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とする日本インカム株式マザーファンド受益証券に投資しており、マザーファンドの組入比率については期を通じて高位を維持し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

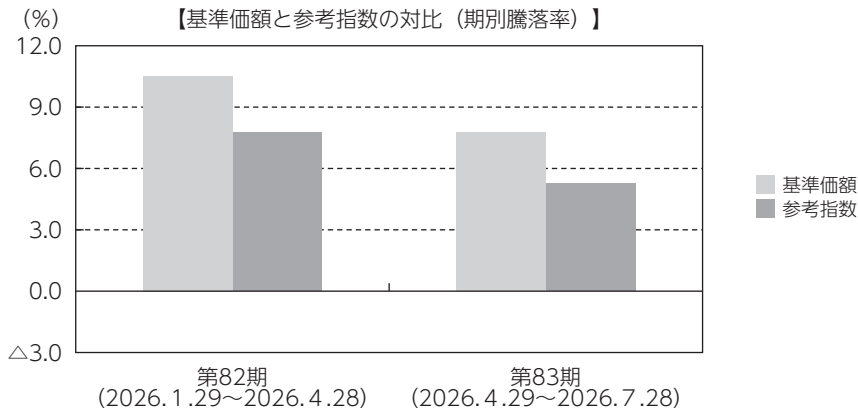
●日本インカム株式マザーファンド

銘柄の選定にあたっては、予想配当利回り、配当性向、および信用リスク等に基づいたスクリーニング・ガイドラインを用いて候補銘柄を絞り込んだのち、業績動向や株価指標、ならびに流動性などを勘案して組入銘柄を決定しました。組入銘柄については入れ替えを抑制した投資姿勢を基本とする運用を行いました。

売買については、日油、ニチアス、マクニカホールディングスなどの買い付けを行う一方、太陽誘電、KDDI、住友電気工業などの売却を行いました。

ベンチマークとの差異について

運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第82期	第83期
	2026年1月29日 ～2026年4月28日	2026年4月29日 ～2026年7月28日
当期分配金（税引前）	70円	70円
対基準価額比率	0.22%	0.21%
当期の収益	70円	70円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	21,111円	23,455円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

マザーファンドを高位に組み入れた運用を行う方針です。

●日本インカム株式マザーファンド

予想配当利回りが比較的高いと判断できる銘柄を選別して分散投資を行うことにより、インカムゲインと中長期的な株価値上がりによるキャピタルゲインの獲得を目指します。今後も配当利回りに着目し、インカムゲインとキャピタルゲインをあわせたトータルリターンの獲得を目指すというファンドコンセプトに則り、①大幅な株価上昇による利回り低下、②保有銘柄の減配・無配への転落、③信用格付け低下による信用リスクの上昇、等を考慮し運用を行う方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第82期～第83期		項目の概要
	(2026年1月29日 ～2026年7月28日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	172円	0.545%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は31,564円です。
（投信会社）	（ 69）	(0.218)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 86）	(0.273)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 17）	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	（ 2）	(0.007)	
(c) その他費用	0	0.000	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	175	0.553	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

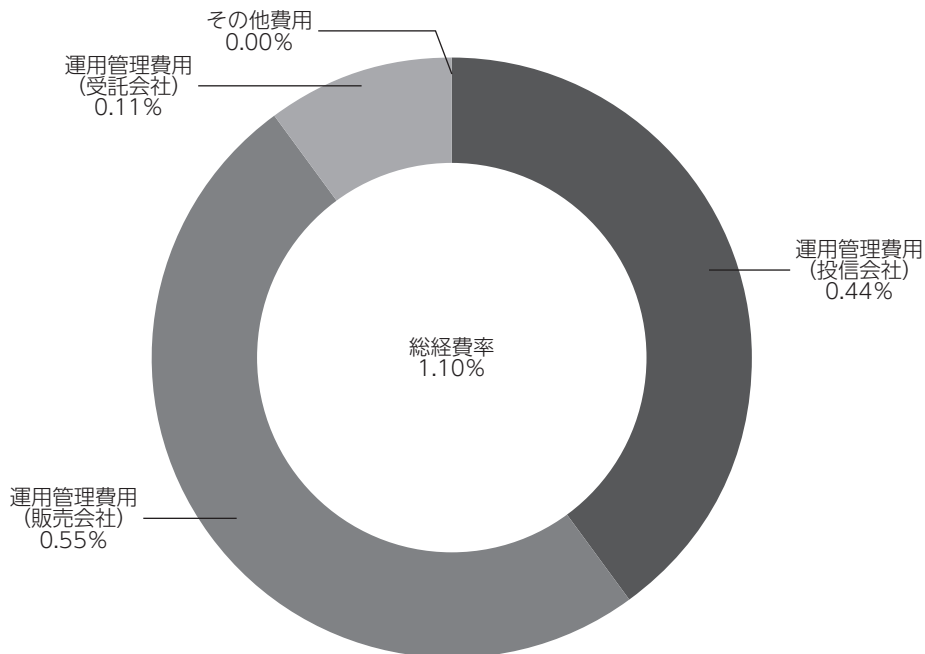
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2026年1月29日から2026年7月28日まで）

	第 82 期 ～ 第 83 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
日本インカム株式マザーファンド	千□ 245,825	千円 1,199,610	千□ 3,241,939	千円 15,316,390

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第 82 期 ～ 第 83 期
	日本インカム株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	17,878,982千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	75,259,727千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.23

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2026年1月29日から2026年7月28日まで）
【One日本インカム株式ファンド（3ヵ月決算型）における利害関係人との取引状況等】

(1) 期中の利害関係人との取引状況
期中の利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 82 期 ～ 第 83 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	5,980千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	614千円
(B)／(A)	10.3%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

【日本インカム株式マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	第 82 期 ~ 第 83 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D / C
株 式	百万円 2,217	百万円 164	% 7.4	百万円 15,661	百万円 952	% 6.1

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細
親投資信託残高

	第 41 作 成 期 末	第 42 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
日 本 イ ン カ ム 株 式 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 18,329,054	千□ 15,332,940	千円 79,987,353

■投資信託財産の構成

2026年7月28日現在

項 目	第 42 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
日本インカム株式マザーファンド	79,987,353	98.8
コール・ローン等、その他	982,837	1.2
投資信託財産総額	80,970,190	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月28日)、(2026年7月28日)現在

項 目	第 82 期 末	第 83 期 末
(A) 資 産	78,078,673,143円	80,970,190,721円
コール・ローン等	836,573,970	982,837,422
日本インカム株式マザーファンド(評価額)	76,874,389,173	79,987,353,299
未 収 入 金	367,710,000	-
(B) 負 債	935,977,391	571,064,922
未払収益分配金	173,569,423	168,224,163
未払解約金	551,909,895	185,039,116
未払信託報酬	210,310,281	217,608,245
その他未払費用	187,792	193,398
(C) 純資産総額(A-B)	77,142,695,752	80,399,125,799
元 本	24,795,631,873	24,032,023,317
次期繰越損益金	52,347,063,879	56,367,102,482
(D) 受益権総口数	24,795,631,873口	24,032,023,317口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,111円	33,455円

(注) 第81期末における元本額は28,462,985,576円、当作成期間(第82期～第83期)中における追加設定元本額は1,548,470,318円、同解約元本額は5,979,432,577円です。

■損益の状況

[自 2026年1月29日]
至 2026年4月28日

[自 2026年4月29日]
至 2026年7月28日

項 目	第 82 期	第 83 期
(A) 配 当 等 収 益	1,282,290円	1,269,389円
受 取 利 息	1,282,290	1,269,389
(B) 有価証券売買損益	7,386,456,923	5,912,610,250
売 買 益	8,099,233,674	6,130,748,787
売 買 損	△712,776,751	△218,138,537
(C) 信 託 報 酬 等	△210,498,073	△217,801,643
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,177,241,140	5,696,077,996
(E) 前期繰越損益金	24,868,521,058	30,128,412,428
(F) 追加信託差損益金	20,474,871,104	20,710,836,221
(配当等相当額)	(19,968,323,321)	(20,128,761,498)
(売買損益相当額)	(506,547,783)	(582,074,723)
(G) 合 計(D+E+F)	52,520,633,302	56,535,326,645
(H) 収 益 分 配 金	△173,569,423	△168,224,163
次期繰越損益金(G+H)	52,347,063,879	56,367,102,482
追加信託差損益金	20,474,871,104	20,710,836,221
(配当等相当額)	(19,981,889,882)	(20,129,442,820)
(売買損益相当額)	(492,981,222)	(581,393,401)
分配準備積立金	31,872,192,775	35,656,266,261

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	880,688,213円	125,801,588円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	6,296,552,927	5,570,276,408
(c) 収 益 調 整 金	20,474,871,104	20,710,836,221
(d) 分 配 準 備 積 立 金	24,868,521,058	30,128,412,428
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	52,520,633,302	56,535,326,645
(f) 1万口当たり当期分配対象額	21,181.41	23,525.00
(g) 分 配 金	173,569,423	168,224,163
(h) 1万口当たり分配金	70	70

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 82 期	第 83 期
1 万口当たり分配金	70円	70円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

- 当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「新光日本インカム株式マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。
(2026年4月1日)

- ファンド名称を「新光日本インカム株式ファンド（3ヵ月決算型）」から「One日本インカム株式ファンド（3ヵ月決算型）」に変更しました。
(2026年4月29日)

- 当ファンドの約款および当ファンドが投資対象とするマザーファンドの約款において、ファンド名称を「新光日本インカム株式マザーファンド」から「日本インカム株式マザーファンド」に変更しました。
(2026年4月29日)

- 信託財産留保額の撤廃に伴う所要の変更を行いました。
(2026年4月29日)

日本インカム株式マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日 2026年7月28日）

（計算期間 2025年7月29日～2026年7月28日）

日本インカム株式マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	予想配当利回りが高いと判断される株式ならびに不動産投資信託受益証券および不動産投資法人投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）に分散投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の取引所上場株式（上場予定を含みます。）、不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。不動産投資信託証券への投資は、上場または上場予定のものに限ります。不動産投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証株価指数(TOPIX) (配当込み) (参考指数)		株式組入 比率	株式先物 比率	投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率	ポイント	期中 騰落率				
15期（2022年7月28日）	18,737	18.6%	3,153.81	4.0%	95.9%	3.2%	—%	百万円 5,460
16期（2023年7月28日）	24,725	32.0%	3,808.60	20.8%	98.2%	—	—	35,384
17期（2024年7月29日）	32,225	30.3%	4,693.59	23.2%	98.8%	—	—	81,577
18期（2025年7月28日）	35,140	9.0%	5,110.36	8.9%	97.9%	—	—	75,118
19期（2026年7月28日）	52,167	48.5%	7,071.01	38.4%	96.7%	—	—	79,987

（注1）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません（以下同じ）。

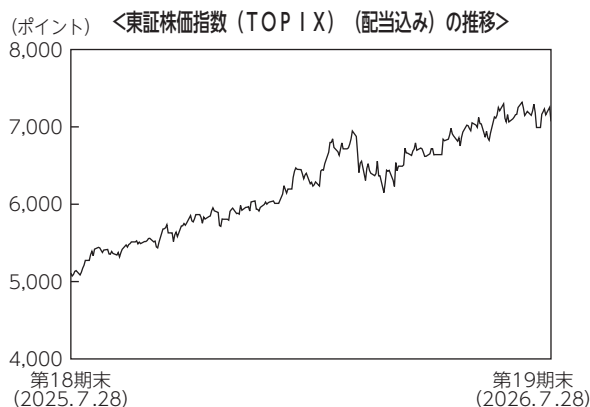
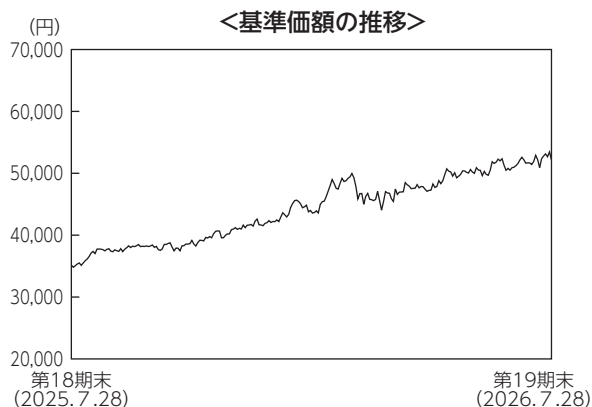
（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		東証株価指数(TOPIX) (配 当 込 み)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	投 資 信 託 受 益 証 券、 投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2025 年 7 月 28 日	円 35,140	% －	ポイント 5,110.36	% －	% 97.9	% －	% －
7 月 末	35,336	0.6	5,132.22	0.4	97.9	－	－
8 月 末	37,489	6.7	5,363.98	5.0	97.5	－	－
9 月 末	38,186	8.7	5,523.68	8.1	95.9	－	－
10 月 末	39,178	11.5	5,865.99	14.8	96.4	－	－
11 月 末	41,217	17.3	5,949.55	16.4	96.0	－	－
12 月 末	42,194	20.1	6,010.98	17.6	96.7	－	－
2026 年 1 月 末	43,937	25.0	6,288.77	23.1	97.0	－	－
2 月 末	49,961	42.2	6,947.17	35.9	96.9	－	－
3 月 末	45,447	29.3	6,229.53	21.9	95.9	－	－
4 月 末	47,715	35.8	6,638.55	29.9	96.0	－	－
5 月 末	50,608	44.0	7,052.48	38.0	95.4	－	－
6 月 末	50,981	45.1	7,126.60	39.5	96.0	－	－
(期 末) 2026 年 7 月 28 日	52,167	48.5	7,071.01	38.4	96.7	－	－

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2025年7月29日から2026年7月28日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、前期比で48.45%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、予想配当利回りが高いと判断される株式ならびに不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とし、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

基準価額は、国内企業の堅調な業績を背景に株式市場が上昇基調となったことなどから、上昇しました。

投資環境

国内株式市場は、期中、一時的に調整する局面がありましたが、期を通して見ると上昇基調となりました。期初から2026年2月までは、米国での利下げ期待や国内での積極財政政策に対する期待などから、上昇しました。2026年3月に入り、中東情勢などに対する地政学リスク懸念が広がった局面では、株式市場は一時的に調整しましたが、期末にかけては、中東情勢の収束期待や国内企業の堅調な業績を背景に上昇しました。

ポートフォリオについて

銘柄の選定にあたっては、予想配当利回り、配当性向、および信用リスク等に基づいたスクリーニング・ガイドラインを用いて候補銘柄を絞り込んだのち、業績動向や株価指標、ならびに流動性などを勘案して組入銘柄を決定しました。組入銘柄については入れ替えを抑制した投資姿勢を基本とする運用を行いました。

売買については、日油、ニチアス、中国塗料などの買い付けを行う一方、ＳＣＳＫ、太陽誘電、ＫＤＤＩなどの売却を行いました。

今後の運用方針

予想配当利回りが比較的高いと判断できる銘柄を選別して分散投資を行うことにより、インカムゲインと中長期的な株価値上がりによるキャピタルゲインの獲得を目指します。今後も配当利回りに着目し、インカムゲインとキャピタルゲインをあわせたトータルリターンを獲得を目指すというファンドコンセプトに則り、①大幅な株価上昇による利回り低下、②保有銘柄の減配・無配への転落、③信用格付け低下による信用リスクの上昇、等の事態に注意しながら運用を行う方針です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8円 (8)	0.018% (0.018)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有効証券等の売買の際に発生する手数料
合 計	8	0.018	
期中の平均基準価額は44,286円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2025年7月29日から2026年7月28日まで)
株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内 上 場		千株	千円	千株	千円
		987 (2,962.5)	4,361,866 (-)	10,058	29,303,602

(注1) 金額は受渡代金です。
(注2) () 内は株式分割、増資割当および合併による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	33,665,469千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	75,008,019千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.44

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2025年7月29日から2026年7月28日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C
株 式	百万円 4,361	百万円 618	% 14.2	百万円 29,303	百万円 2,772	% 9.5

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	14,796千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	1,865千円
(B)／(A)	12.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当	期	末
	株数	株数	評価額	評価額
	千株	千株		千円
建設業 (6.1%)				
長谷工コーポレーション	80	72.9	207,254	
東亜建設工業	160	118.5	242,806	
住友林業	1,050	956.8	1,315,121	
積水ハウス	510	364.5	1,332,976	
エフシオグループ	980	602.6	1,608,942	
化学 (8.4%)				
東ソー	50	—	—	
信越化学工業	270	246	1,444,512	
三菱瓦斯化学	360	309.8	1,240,129	
三井化学	250	455.6	969,972	
住友ベークライト	390	236.9	1,491,759	
日油	—	330	922,020	
中国塗料	—	110	415,800	
ゴム製品 (3.6%)				
横浜ゴム	350	318.9	2,406,738	
ブリヂストン	90	91.1	353,285	
ガラス・土石製品 (3.3%)				
フジミインコーポレーテッド	60	180	662,400	
ニチアス	100	570	1,858,770	
非鉄金属 (2.1%)				
住友電気工業	290	750	1,640,625	
機械 (0.1%)				
アマダ	40	36.5	98,860	
三井海洋開発	110	—	—	
電気機器 (3.0%)				
太陽誘電	160	64.6	663,765	
東京エレクトロン	55	30.1	1,683,192	
輸送用機器 (2.7%)				
デンソー	620	341.8	710,773	
いすゞ自動車	380	346.3	841,855	
本田技研工業	1,100	332.6	536,151	
精密機器 (1.3%)				
東京精密	—	63.8	1,028,456	
その他製品 (1.4%)				
任天堂	155	136.7	1,046,985	
情報・通信業 (6.9%)				
コーエーテクモホールディングス	480	380	581,400	
NTT	15,000	12,868.8	2,012,680	
KDDI	960	220.1	658,759	
ソフトバンク	10,000	9,112.6	2,103,188	
SCSK	380	—	—	

銘柄	期首(前期末)	当	期	末
	株数	株数	評価額	評価額
	千株	千株		千円
卸売業 (21.8%)				
マクニカホールディングス	550	483.6	1,490,455	
伊藤忠商事	520	1,959.2	3,915,461	
丸紅	800	610.5	3,218,556	
豊田通商	990	785.7	5,079,550	
三井物産	400	344.5	1,684,605	
三菱商事	570	300.7	1,436,143	
小売業 (3.7%)				
丸井グループ	800	729	2,198,664	
サンドラッグ	450	172.3	670,763	
銀行業 (16.6%)				
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,920	1,453.8	5,322,361	
三井住友トラストグループ	450	288.1	1,950,148	
三井住友フィナンシャルグループ	970	800.1	5,547,893	
証券・商品先物取引業 (—%)				
SBIホールディングス	200	—	—	
保険業 (13.4%)				
SOMPOホールディングス	340	273.4	1,985,977	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	620	448.5	2,259,991	
東京海上ホールディングス	880	744.6	6,131,036	
その他金融業 (5.5%)				
オリックス	640	473.2	3,028,480	
三菱HCキャピタル	900	820.1	1,203,086	
不動産業 (0.2%)				
野村不動産ホールディングス	150	136.7	133,022	
合計	株数・金額	千株	千株	千円
	銘柄数<比率>	46銘柄	45銘柄	77,335,377

(注1) 銘柄欄の()内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2026年7月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 77,335,377	% 96.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,713,588	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	80,048,966	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年7月28日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	80,048,966,272円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,664,431,052
株 式(評価額)	77,335,377,420
未 収 配 当 金	49,157,800
(B) 負 債	61,378,929
未 払 金	61,378,929
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	79,987,587,343
元 本	15,332,940,997
次 期 繰 越 損 益 金	64,654,646,346
(D) 受 益 権 総 口 数	15,332,940,997口
1 万口当たり基準価額(C／D)	52,167円

- (注1) 期首元本額 21,376,849,256円
追加設定元本額 245,825,971円
一部解約元本額 6,289,734,230円
- (注2) 期末における元本の内訳
One日本インカム株式ファンド (3ヵ月決算型) 15,332,940,997円
期末元本合計 15,332,940,997円

■損益の状況

当期 自2025年7月29日 至2026年7月28日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,236,907,640円
受 取 配 当 金	2,220,973,988
受 取 利 息	15,933,553
そ の 他 収 益 金	99
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,711,808,558
売 買 益	30,679,056,670
売 買 損	△1,967,248,112
(C) 当 期 損 益 金(A＋B)	30,948,716,198
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	53,741,681,889
(E) 解 約 差 損 益 金	△20,989,535,770
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	953,784,029
(G) 合 計(C＋D＋E＋F)	64,654,646,346
次 期 繰 越 損 益 金(G)	64,654,646,346

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

■ファンド名称を「新光日本インカム株式マザーファンド」から「日本インカム株式マザーファンド」に変更しました。

(2026年4月29日)